

# 最優秀賞に岐阜県立大垣養老高校

東京都大環境学部 (吉崎真司学部長) は先月24日、第3回「高校生環境活動グループ実践賞」コンテストの表彰式(写真)を、横浜市都筑区の横浜キャンパスで実施した。同賞は高校生の環境保全活動を支援するため13年度に創設されたもので、環境新聞社、東急不動産が後援。今回は4グループが入賞し、その中から最優秀賞(環境学部長賞)には、滝の水がお酒に変わったという「養老伝説」を動機に、

## 第3回「高校生環境活動グループ実践賞」を表彰

東京都大環境学部 本社後援



滝や湧水から天然酵母を(東急不動産ホールディングス賞)を受賞したとともに、環境保全の啓発「岐阜県立大垣養老高校」の食品科学科湧く湧くに取り組み、地域連携賞「班」が選ばれた。

また、環境コミユニケーション賞(環境新聞社賞)は、岡山県の瀬戸内海で海底ごみの発生抑制の啓発活動や「海底ごみの見える化」プロジェクトを地元の漁協と協働で推進している「山陽学園の山陽女子高校地

歴部)、学校実践賞(五島育英会賞)は、南海・東南海地震の発生が予想されている静岡県の遠州灘海岸で松枯れにより機能障害を起こしている海岸防災林の修復と再生活動を実践している「中野学園オイスカ高校のワイルドキャリアコース」、さらに審査委員長特別賞は、空気の浄化能力が確認されている花の「サンパチエンス」を用いた水質浄化システムの技術開発や、それを使ったボランティア活動に取り組んでいる「青森県立名久井農業高校の環境班」がそれぞれ受賞した。

■この記事・写真等は環境新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会